■日時　令和6年8月15日(木)　■天候　　晴れ　　大智学園高校・通 対 精華学園高校・広島・通

■球場 JPアセットスタジアム江戸川　第3試合　4回戦　　準決勝　■試合時間　2時間22分　■備考

■審判　　球審:粟村　　塁審:田村　前島　小田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
精華広島・通	西中国・広島	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	3	4
大智学園・通	東京1	1	0	3	1	0	1	0	0	×							6	7	2

精華広島・通

	ポジション					氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	二					豊 田 愛 仁	4	0	1	0	投ゴ		四球		三ゴ		中安		一飛
2	投	捕				堀 本 泰 我	4	0	2	0	三飛		遊安		左飛		左安		
3	中					清 水 響太朗	3	0	0	0	二飛		一ゴ			四球	三ゴ		
4	右	投				大 室 東 治	4	0	0	0		遊失		一邪		三振		捕邪	
5	左					髙 橋 飛 羽	1	0	0	0		一邪		四球		四球		死球	
6	遊					志 窪 悠 作	4	0	0	0		遊ゴ		一邪		二ゴ		遊ゴ	
7	一					惠 美 龍 斗	3	0	0	0		二併		四球		一飛		二ゴ	
8	捕	右				和 田 耕太朗	4	0	0	0			三振	三振			三ゴ		三ゴ
9	三					近 藤 晴 空	4	0	0	0			三振		三ゴ		三振		三振
						合計	31	0	3	0	残塁:10　併殺:0								

備考

■バッテリー

投手	捕手
堀 本 泰 我	和 田 耕太朗
大 室 東 治	堀 本 泰 我

■投手成績

氏名	回数		打者	安打	三振	四球	自責	投球数
堀 本 泰 我	2	1/3	12	3	2	2	3	43
大 室 東 治	5	2/3	27	4	4	5	0	93

大智学園・通

	ポジション					氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	右					石 井 豪	3	1	0	0	投ゴ		四球	投犠		一邪		三振	
2	一					山 田 薫 大	2	2	1	0	四球		右安	三ゴ			四球	四球	
3	三					川 島 源太郎	5	1	2	2	左安		左2		左飛		中飛	左飛	
4	左					古 賀 友 樹	4	0	2	1	二ゴ		左安		左安		左失		
5	投					渡 邉 敦 貴	4	0	0	0	三ゴ		遊失		三ゴ		投ゴ		
6	遊					船 津 勇 真	3	0	0	0		左飛	投ゴ		中飛		*1		
7	中					新 嵩 勇 武	2	2	0	0		投ゴ		四球		三失			
7		打				佐 藤 薫	0	0	0	0									
7			中			小 口 大 倭	1	0	0	0								三振	
8	二					北 沢 琉 真	2	0	0	1		三振		三振		投犠		四球	
9	捕					辻 順 夫	4	0	2	0			三振	中安		三振		二安	
						合計	30	6	7	4	残塁:9　併殺:1								

備考　*1:申告敬遠

■バッテリー

投手	捕手
渡 邉 敦 貴	辻 順 夫

■投手成績

氏名	回数		打者	安打	三振	四球	自責	投球数
渡 邉 敦 貴	9		37	3	6	6	0	120

■戦評

JPアセットスタジアム江戸川で行われた準決勝第1試合は共に同日同球場で行われた準々決勝をコールドで制した大智学園高校・通信制と精華学園高校・広島・通信制の対戦となった。初回に1点を先制した大智学園は3回一死二三塁から3番川島の適時二塁打で追加点を奪う。ここで精華学園広島は準々決勝に先発した主戦大室を救援のマウンドに送るも失策によりもう1点失う。6回大智学園は無死三塁から8番北沢がスクイズを決め6点差とする。追い込まれた精華学園広島は7回二死から1番豊田2番堀本の連打により好機を作るも後続が絶たれ無得点に終わる。7回8回と大智学園は得点圏に走者を進めるも精華学園・広島が踏ん張り最後の攻撃に望みをかける。しかし9回の精華学園・広島の攻撃は三者凡退に終わり試合終了。先発渡邉の120球3安打完封が光った大智学園が6－0で勝利し3年連続の決勝進出を果たした。一方敗れた精華学園・広島であったが主将で投手捕手を兼任する堀本と投打の軸である大室を中心によくまとまっており劣勢となったこの試合でも全選手が最後まで全力で戦い抜く姿は全国三位の名にふさわしいものであったことは言うまでもないだろう。